

TARC 検査について

TARC (Th2 ケモカイン)

TARC は、表皮角化細胞などで産生されるケモカインの一種で、皮膚の病変部位などに Th2 細胞を遊走させる働きがある。アトピー性皮膚炎では TARC の作用によって集積した Th2 細胞がアレルギー反応 (IgE 産生、好酸球の浸潤・活性化など) を亢進して、症状を悪化させると考えられている。血清中の TARC 量は、アトピー性皮膚炎において重症度を反映して変動することが示唆されており、皮膚病変の程度と重症度を知る指標として、また、治療効果判定の指標として有用と考えられている。

TARC (薬剤性過敏症症候群)

薬剤性過敏症症候群 (DIHS/DRESS) は、発熱、臓器障害、ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV-6) の再活性化を伴う重症薬疹であり、その他汎発型薬疹 (スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、播種状紅斑丘疹型薬疹等) と治療方針が大きく異なることから、発症早期の鑑別が求められている。

血清 TARC 濃度は、急性期の DIHS/DRESS では高値を示すのに対し、その他汎発型薬疹では軽度の上昇にとどまることから、DIHS/DRESS の診断補助に有用であることが報告されている。

TARC (COVID-19)

新型コロナウイルス感染症において、酸素投与を要する中等度 II 以上の重症化に至る患者の血清中の TARC 濃度は、感染初期から重症化するまでの期間は低値を示すことが報告されている。このことから SARS-CoV-2 陽性判定後すみやかに TARC 濃度を測定することで、重症化リスクのある患者を特定できる可能性がある。

検査概要

検査項目名	TARC (Th2 ケモカイン)	TARC (薬剤性過敏症症候群)	TARC (COVID-19)
検査方法	CLEIA 法		
検体量	血清 0.3mL		
所要日数	2~4 日		
検査実施料	179 点※ (D015「血漿蛋白免疫学的検査」18)		
基準値 (pg/mL)	6 ヶ月以上~12 か月未満 : 1367 未満 1 歳以上~2 歳未満 : 998 未満 2 歳以上~16 歳未満 : 743 未満 16 歳以上 : 450 未満	カットオフ値 4000 未満	カットオフ値 95.1 以上
備考	血漿はデータ低下が見られますので避けてください。 トロンビン入り採血管は測定値に影響を与える恐れがあるため使用を避けてください		

(裏面あり)

※【算定条件】

- ア アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助を目的として血清中の TARC 量を測定する場合に、月 1 回を限度として算定できる。
- イ 薬剤性過敏症候群が疑われる患者に対し、当該疾患の鑑別診断の補助を目的として、血清中の TARC 量を測定する場合に、一連の治療につき 1 回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から一連の治療につき 2 回以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。(令和 6 年 11 月 29 日変更)
- ウ COVID-19 と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、血清中の TARC 量を測定する場合は、一連の治療につき 1 回を限度として算定できる。

● TARC (薬剤性過敏症候群)、TARC (COVID-19) の留意事項

免疫反応においては、一般的に非特異的反応により異常高値となる場合があることが知られていますのでご注意ください。

薬剤性過敏症候群 (DIHS/DRESS) の診断補助

- 以下の患者は TARC 値に影響を与える恐れがあるため、正確な診断ができない可能性があります。
 - ・ 重症アトピー性皮膚炎患者
 - ・ 皮膚 T 細胞リンパ腫の患者
 - ・ 移植片対宿主病 (GVHD) の疑いがある患者
 - ・ プレドニン換算で 20mg/日以上ステロイドの全身投与を受けている患者
 - ・ プレドニン換算で 20mg/日未満のステロイドの全身投与を 5 日間以上継続されている患者
- 急性期の DIHS/DRESS の診断補助を目的としているため、回復期には使用しないでください。
- DIHS の重篤副作用疾患別マニュアルに記載の判別基準を参照し、他の関連検査及び臨床症状等も含めて総合的に判断してください。

SARS-CoV-2 陽性患者の重症化リスクの判定補助

- SARS-CoV-2 陽性患者の重症化リスクの判定補助を目的としているため、重症化後のご依頼は避けてください。
- 重症化する患者でもカットオフ値 (95.0pg/mL) 以下であった TARC 濃度が病態経過に応じて上昇する症例があるため、SARS-CoV-2 陽性患者の重症化リスクの判定補助には、他の関連検査及び臨床症状等により総合的に判断してください。